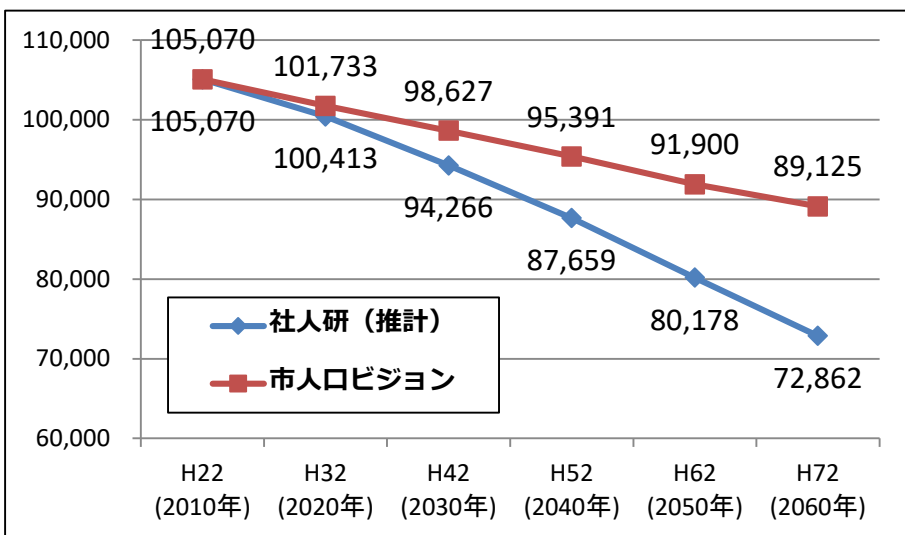


鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略 の取組状況等について

令和4年10月
鹿屋市政策推進課

鹿屋市人口ビジョン



※社人研：国立社会保障・人口問題研究所

<人口の将来目標>

2060年に9万人程度の人口を維持する

①自然増減

2030（平成42）年に合計特殊出生率が2.1となるように段階的に引き上げる。

②社会増減

2020（平成32）年までに転入・転出を均衡させる。

第2期鹿屋市総合戦略

5つの
基本目標

13の
基本施策

79の
事業

■基本目標① やってみたい仕事ができるまち

- ・活力ある農林水産業の振興
- ・商工業の振興と雇用の促進

■基本目標② いつでも訪れやすいまち

- ・地域資源を生かした観光の推進
- ・スポーツによる交流の推進
- ・移住・定住の推進

■基本目標③ 子育てしやすいまち

- ・子育て支援の充実
- ・未来につながる教育の充実

■基本目標④ 未来につながる住みよいまち

- ・快適な生活基盤づくりの推進
- ・安全で安心な生活の実現
- ・自然環境にやさしいまちづくりの推進

■基本目標⑤ とともに支えあい、

いきいきと暮らせるまち

- ・地域福祉の充実
- ・健康づくり・生きがいづくりの推進
- ・共生協働・コミュニティ活動の推進

2-1 目標人口と年度別推移（実績等）

年	①社人研	②人口ビジョン	③実績	③実績－ ①社人研	③実績－ ②人口ビジョン
H26	—	—	104,077	—	—
H27	102,974	103,177	103,608	<u>+634</u>	<u>+431</u>
H28	102,462	102,888	103,185	<u>+723</u>	<u>+297</u>
H29	101,950	102,599	103,036	<u>+1,086</u>	<u>+437</u>
H30	101,437	102,311	102,397	<u>+960</u>	<u>+86</u>
R01	100,925	102,022	101,757	<u>+832</u>	<u>-265</u>
R02	100,413	101,733	101,204	<u>+791</u>	<u>-529</u>
R03	99,814	101,414	100,493	<u>+679</u>	<u>-921</u>
・	・	・	・	・	・
R42	72,862	89,125	—	—	—

27～02の人口の差を
各年度に按分

▲3,500人

※：国勢調査(H27、R2)、県人口移動調査(H26、H28～R元、R3)各年10月1日現在

H27～R3年度の人口（実績）について

- 本市の人口（H27～R3実績値）は平成26年から減少し続けており、H26から7年間で、約3,500人減少している。
- 人口の推移は、社人研の推計値を上回っているが、本市の人口ビジョンより下回っている。

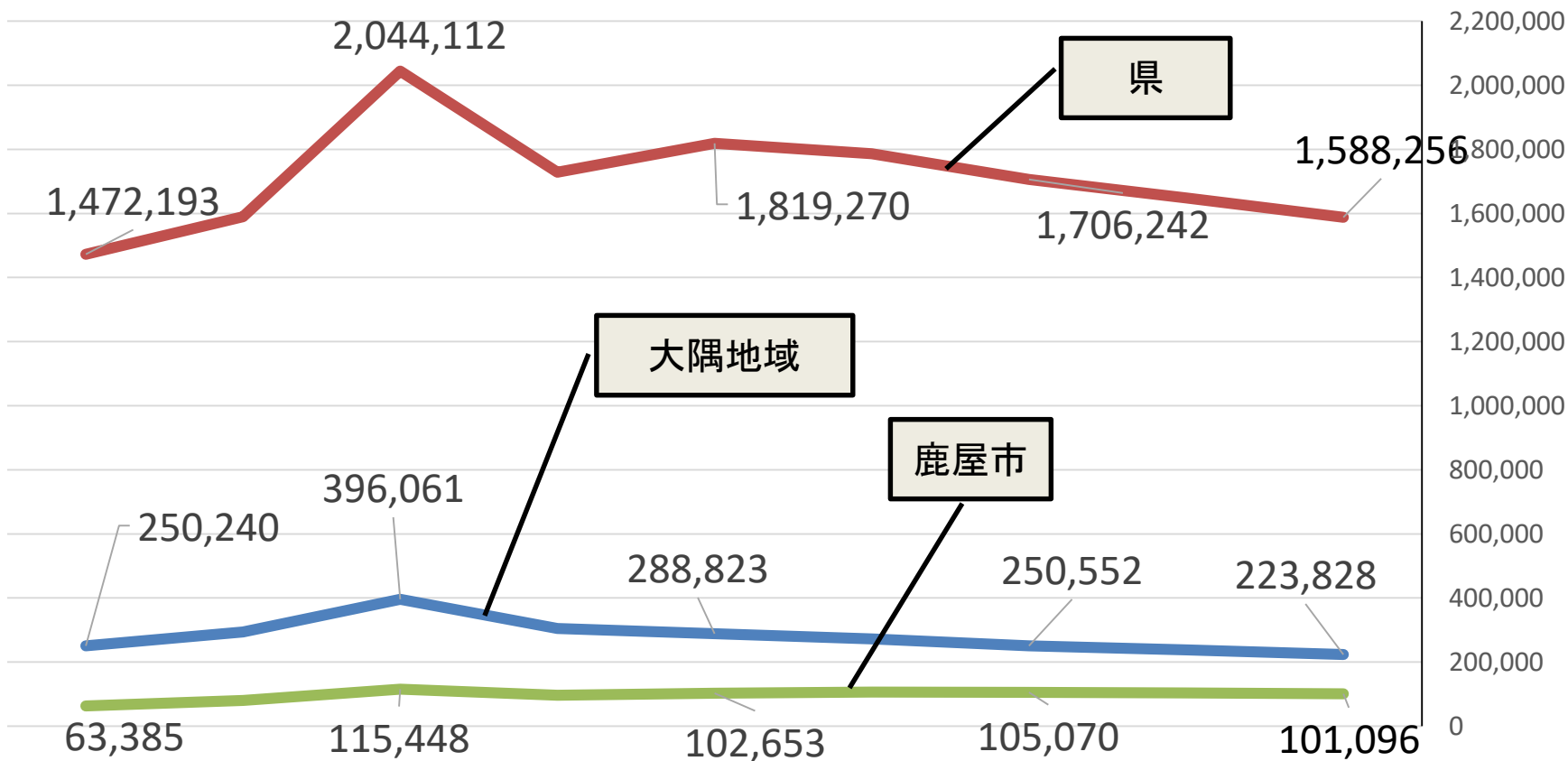
2-2 令和2年国勢調査集計結果

令和2年国勢調査による鹿児島県の人口は、**1,588,256人**であり、

前回（H27年）より**△59,921人（減少率：△3.63%）**

大隅地域は、**223,828人** 前回より**△14,236人（減少率：△5.98%）**

鹿屋市は、**101,096人** 前回より **△2,512人（減少率：△2.42%）**



【参考】

- 鹿屋市 (-2.4%)
- 垂水市 (-11.0%)
- 南大隅町 (-14.1%)
- 錦江町 (-12.4%)
- 肝付町 (-9.2%)
- 東串良町 (-4.5%)
- 志布志市 (-6.8%)
- 曾於市 (-8.9%)
- 大崎町 (-6.5%)

出典：R2国勢調査結果

— 大隅地域 — 県 — 鹿屋市

(単位：人)

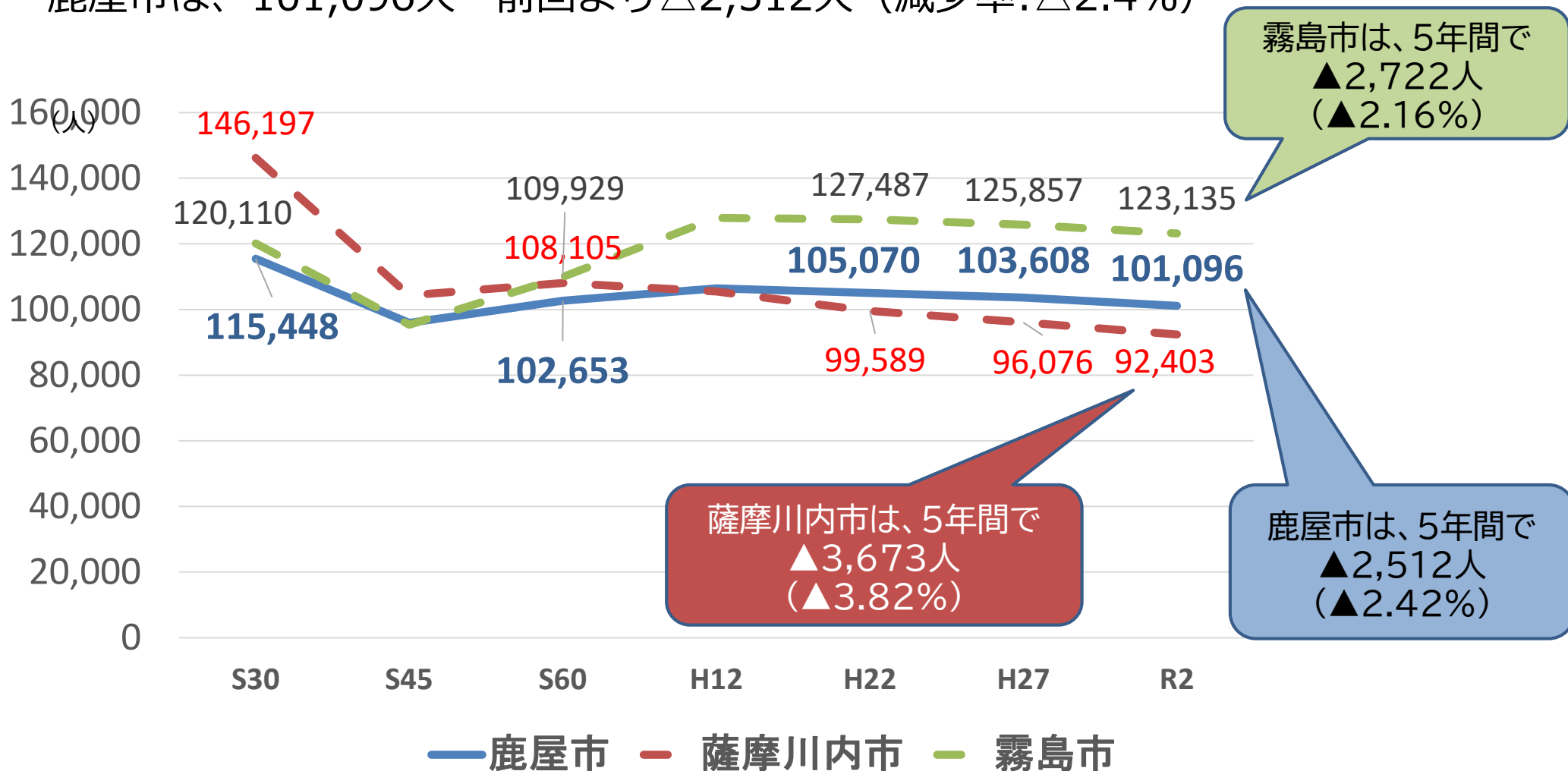
- ・ 大隅半島全体の人口減少幅は鹿屋市よりも大きい。特に3市5町の人口減が顕著
- ・ 鹿屋市は、大隅半島全体人口の45.2%を占める。

2-2 令和2年国勢調査集計結果

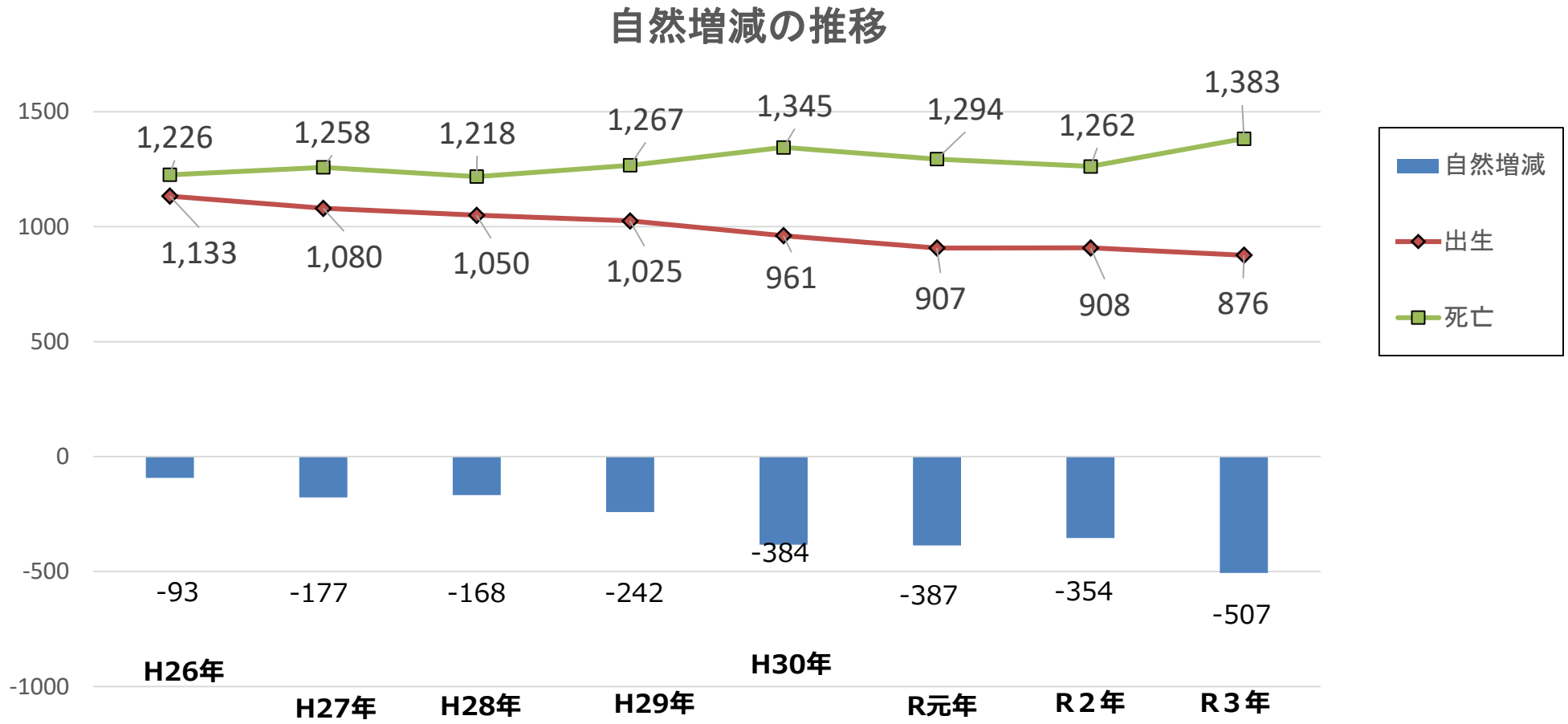
■人口動態（鹿屋市、薩摩川内市、霧島市の比較）

※人口増減率を比較すると、鹿屋市は、薩摩川内市より低く、霧島市より高い。

鹿屋市は、101,096人 前回より△2,512人（減少率:△2.4%）



- ・県内では始良市と龍郷町のみが人口が増加した。
- ・鹿屋市は、人口が減少した市の中で鹿児島市、霧島市に次いで3番目に減少率が少ない。

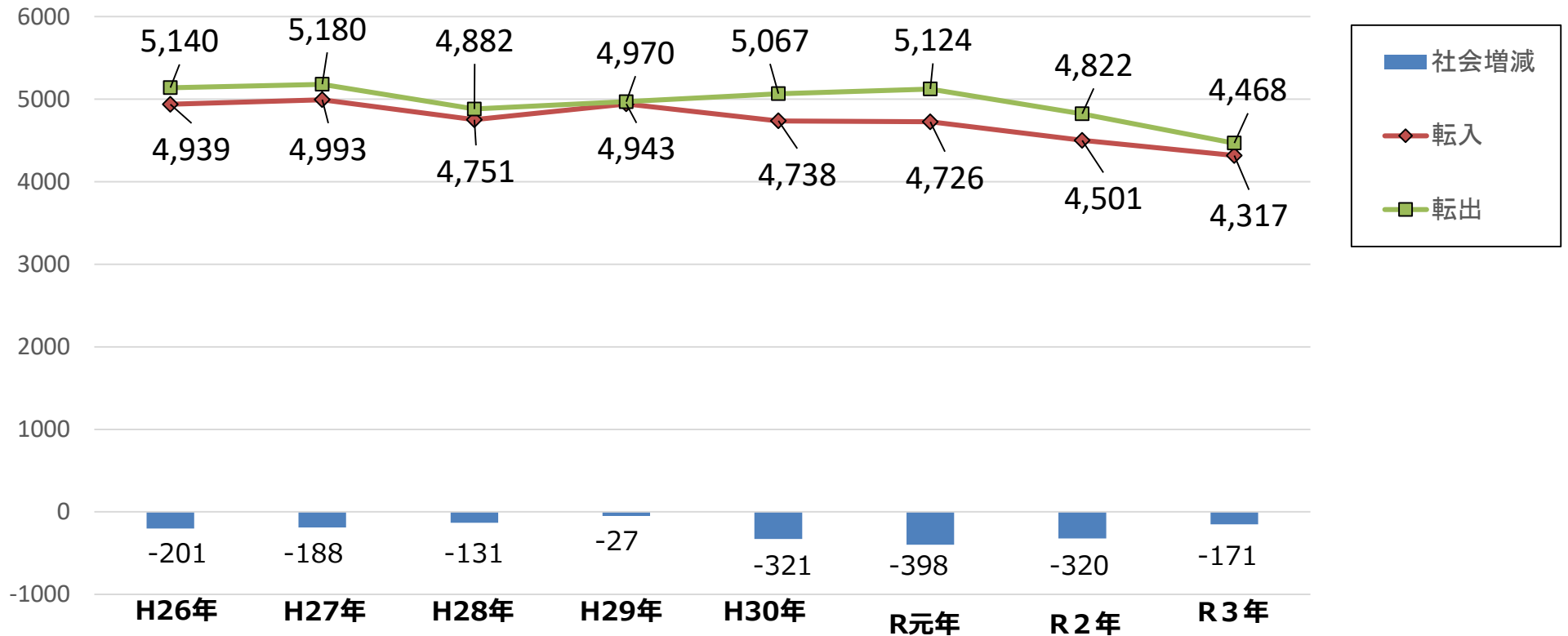


出典：住民基本台帳

- ・合計特殊出生率は全国的にも高い。（H25～H29の5年間の平均値「2.01」）
- ・出生数は、年々減少傾向にあり、R3年は900人を割り込んだ。
⇒ 母親となる人口減や婚姻数の減が要因と考えられる。
- ・死亡数は、高齢化の進行とともに、さらに増加が見込まれる。

3-2 人口動態の推移（実績）（社会増減について）

社会増減の推移



出典：住民基本台帳

- ・ 転出者数に占める15～30歳未満の転出割合が約45%を占める。
- ・ 男女とも特に18歳・22歳の流出が顕著
⇒ 進学・就職で市外転出するため

4-1 R3主な取組状況と成果等（やってみたい仕事ができるまち）⁷

■ 地域6次産業化の推進

- 海外輸出オンライン商談会
 - ・沖縄国際物流ハブの物流機能を活用した鹿児島県産品の海外輸出を促進



- 新たな生活様式に対応した販路開拓支援
 - ・リモート商談会の開催による販路開拓やECサイト導入等に係る支援

■ 農林水産業の経営体制の強化

○スマート農業の推進

農作業の省力化、コスト低減、新規就農者への栽培技術の継承などの課題を解決するため、IoTやICT技術を活用して超省力化、高品質生産を実現する新たな農業（スマート農業）を推進

- ・農業用ドローンの導入支援
- ・環境制御装置の導入支援
- ・アシストスーツのレンタル



環境制御装置の導入
スマホで温度管理などが可能

■ 商工業の振興と雇用の促進

- サテライトオフィスの誘致促進
 - ・サテライトオフィス誘致促進補助金の創設
R3年度：1件



- 企業誘致サポーター制度の創設
 - ・企業進出情報の収集や誘致活動のサポート、助言を行う企業誘致サポーター（R3：9人）



アシストスーツのレンタル
農作業の省力化を推進

4-2 R3主な数値目標・実績（やってみたい仕事ができるまち）

※ 5つの基本施策に紐づく14事業のうち主な事業5つを掲載しています。

No.	指標	R2年度 (実績値)	R3年度 (目標値)	R3年度 (実績値)	達成度	評価	R6年度 (目標値)	R3の達成状況を踏まえ 改善・強化（工夫）している内容
1	スマート農業普及率（耕種） (分母) 認定農業者数：290戸 (分子) スマート農業機器の導入者数：25戸	5.8%	5%	8.6%	172.0%	◎	20%	・実証現地検討会での結果報告や個別説明、市ホームページ等を通じてスマート農業の効果を農家に伝えている。 ・導入希望農家に対しては、機器導入支援事業（市単独）で補助している。
8	鳥獣被害額の抑制 ★	8,099千円/年	6,864千円/年	7,023千円/年	★ 2.3%	○	4,302千円/年	国庫補助を活用した農地への鳥獣侵入防止柵整備事業を要望し、R4年度は受益面積56.26haの整備を予定している。
10	創業支援等事業による創業者	28件/年	50件/年	45件/年	90.0%	○	50件/年	鹿屋商工会議所、かのや市商工会と連携した創業者向けの創業塾等を開催し、創業しやすい環境を整備している。 ・創業塾：かのや商工会（R3～） ・創業スクール：鹿屋商工会議所（R4～）
13	立地協定締結件数	1件/年	5件/年	3件/年	60.0%	○	5件/年	企業誘致サポーター制度をR3年度に創設しており、企業誘致サポーターを活用した企業情報収集の体制強化を行っている。 ※企業誘致サポーター：9人
14	地元就職支援事業後の雇用マッチング数 新型コロナウイルスの影響により、合同説明会への出展企業、求職者の参加や市外在住学生のインターンシップ参加者が少なくマッチング機会が少なかったため。	0人/年	30人/年	2人/年	6.7%	×	30人/年	新規事業として市内事業者の就職情報サイトへ求人情報を掲載する費用に対し2/3補助する「求人情報発信支援事業補助制度」を開始し、求人情報発信及びマッチングを強化した。

◎…達成されている ○…概ね達成されている △…達成されていない ×…見直しが必要

(達成度：◎…100%以上、○…60%以上、△…20%以上、×…20%未満)

(★削減目標の場合：◎…0%以下、○…+40%以下、△…+80%以下、×…+80%を超える)

■ 関係人口の増加につながる施策の展開

○ ふるさと納税寄附額

年度	寄附額
R3	2,841百万
R2	2,598百万
R元	2,554百万
H30	1,562百万

○ R3年度返礼品カテゴリ別ランキング (寄付額順)

- ①うなぎ ②牛肉 ③水 ④焼酎



■ スポーツによる交流の推進

○ サイクリストサポート施設の整備



市内の民間や
公共施設
25か所

○ スポーツ施設の整備

- ・ スポーツ合宿誘致による交流を促進するため、照明LED化や陸上競技場ウレタン舗装改修などスポーツ施設を整備



■ 地域資源を生かした観光の推進

- ・ 戦争の記憶を未来へ語り継ぐためCGによるVR映像化



戦争遺跡のVR映像 (3か所)

- ・ マイクロツーリズム推進のため、体験メニューをタリフ化 (寿司握り体験など)
- ・ 民間の観光人材活用 (地域活性化起業人)



5-2 R3主な数値目標・実績（いつでも訪れやすいまち）

※ 5つの基本施策に紐づく11事業のうち主な事業5つを掲載しています。

No.	指標	R2年度 (実績値)	R3年度 (目標値)	R3年度 (実績値)	達成度	評価	R6年度 (目標値)	R3の達成状況を踏まえ 改善・強化（工夫）している内容
3	ばら園入園者数	74,805人 /年	114,000人 /年	55,675人 /年	48.8%	△	120,000人 /年	旅行者への営業訪問やマリンポートかごしまと鹿屋港を結ぶ不定期航路を活用した団体ツアーを実施する旅行者への補助など団体客の誘致強化を図り、来園者の増に努めている。
		新型コロナの影響により春と秋のばら祭りについて規模を縮小して開催したため。						
5	入込客数	892,356人 /年	1,500,000人 /年	832,345人 /年	55.5%	△	1,500,000人 /年	マイクロツーリズム推進のための体験メニューをタリフ化し、タリフを活用した営業活動、各種媒体を使用したプロモーションを実施した。
		新型コロナの影響により観光客が減少したため。						
8	ふるさと納税寄 附件数	135,926件 /年	100,000件 /年	154,762件 /年	154.8%	◎	100,000件 /年	一部を除くサイト運営を委託し、掲載返礼品数の増加をはじめ、魅せるページづくりやサイト内広告の強化、PR動画の制作・配信で更なる寄附額の増に努めている。
9	スポーツ合宿者 数	3,193人 /年	22,000人 /年	10,027人 /年	45.6%	△	25,000人 /年	本市での合宿実施団体や鹿屋体育大学、競技団体等のネットワークを活用し、新たに営業活動を実施している。
		新型コロナの影響の長期化により着地型合宿や大会等が中止になったため。						
12	相談窓口を 経由した移住者 数	40人/年	50人/年	29人/年	58.0%	△	50人/年	移住検討者への仕事（企業紹介動画）や空き家に関する情報発信の強化。現在、本市に興味を示した者への個別対応を通して本市への移住促進に努めている。
		新型コロナの影響の長期化により移住希望者の来市機会が確保できなかったため。						

◎…達成されている ○…概ね達成されている △…達成されていない ×…見直しが必要

（達成度：◎…100%以上、○…60%以上、△…20%以上、×…20%未満）

（★削減目標の場合：◎…0%以下、○…+40%以下、△…+80%以下、×…+80%を超える）

■子育て支援の充実

- 医療費無償化の拡充
 - ・高校卒業まで（R3年4月診療分から）



- 子育て支援施設の機能充実
 - ・子育て交流プラザの開館
 - ・愛称『あそVIVA!かのや』に決定



■鹿屋女子高等学校の活性化

- 鹿屋体育大学との連携などスポーツ分野の強化
 - ・大学施設での最新機器を用いたスキル測定
 - ・測定結果をフィードバックし、日頃の練習やトレーニングに活用

■未来につながる教育の充実

- 北部学校給食センターの供用開始（R3.9月）



- GIGAスクールサポーターの配置
 - ・機器障害やネットワークトラブルに対応
 - ・教職員や管理者向けの各種研修会の実施



教職員研修の様子

- ICT機器を活用した英語力強化
 - ・タブレット端末を活用した英語テストの実施（スピーキングクエストを受ける児童）



6-2 R3主な数値目標・実績（子育てしやすいまち）

※ 5つの基本施策に紐づく19事業のうち主な事業5つを掲載しています。

No.	指標	R2年度 (実績値)	R3年度 (目標値)	R3年度 (実績値)	達成度	評価	R6年度 (目標値)	R3の達成状況を踏まえ 改善・強化（工夫）している内容
1	訪問産後ケア事業利用者数	140人/年	150人/年	133人/年	88.7%	○	165人/年	産後ケアについて、母子手帳発行時に全ての妊婦へ説明、子育て便利帳への掲載、初妊婦への電話勧奨に加え、市広報誌で事業や助産師等地域の支援者の紹介を行っている。
3	潜在的待機児童数 (3月末時点)★	152人	67人	113人	68.7%	△	36人	定員の弾力運用や認定子ども園への移行を勧め、保育の受け皿拡大を図っている。
年度途中からの入所について市街地の保育施設を希望するケースが多いため								
7	各種乳幼児健診受診率	83.4%	95%	90.3%	95.1%	○	95%	母子保健推進員や市保健師等による未受診者訪問や電話による受診勧奨を行い、母子の健康状態、乳幼児の心身の発達、家族や養育状況等を確認している。（健診の予約制導入） ※各年度に各年度における7ヶ月児、1歳6ヶ月児、2歳児、3歳児が対象
13	鹿屋女子高定員充足率	76.6%	100%	78.8%	78.8%	○	100%	生徒数は、年々増加傾向にある。充足率向上に向けて、ICT環境の整備や部活動支援など、様々な魅力の創出に取り組んでいる。
16	英検3級相当の英語力のある生徒の割合	46.1%	43%	32.3%	71.8%	○	50%	鹿屋市小中学校弁論大会（中学校：トピックトーク部門、弁論部門）に加えて、市内全小学生代表2人のスキット部門を新設し、小中一貫の取組に変更した。

◎…達成されている ○…概ね達成されている △…達成されていない ×…見直しが必要

(達成度：◎…100%以上、○…60%以上、△…20%以上、×…20%未満)

(★削減目標の場合：◎…0%以下、○…+40%以下、△…+80%以下、×…+80%を超える)

■ 快適な生活の基盤づくりの推進

- 流域分散排水路の整備
 - ・新川地区への雨水の流入防止及び分水させるための排水路を整備
- 公共施設用地への流出抑制施設の整備
 - ・都市公園等に雨水を一時的に貯留し、下流側への排水量を軽減させる。



流域分散排水路(新川町)

■ 安全で安心な生活の実現

- 災救マップ（避難所マップ）の導入（7月）
 - ・大阪大学と連携し、避難所の場所、開設状況等をスマホ等で確認できる電子マップ
- 土砂災害を想定した避難訓練の実施（11月）
 - ・大阪大学と連携し、天神町において避難訓練を実施



土砂災害避難訓練（天神町）

■ 自然環境にやさしいまちづくりの推進

- 鹿屋市再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドラインの策定
 - ・市民の安全・安心の確保のため、災害の防止や生活環境の保全、良好な景観の保全を図る配慮事項等を明記
- 『ゼロカーボンシティかのや』宣言（R4.2月）
 - ・2050年までに本市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする。



7-2 R3主な数値目標・実績（未来につながる住みよいまち）

※ 5つの基本施策に紐づく21事業のうち主な事業5つを掲載しています。

No.	指標	R2年度 (実績値)	R3年度 (目標値)	R3年度 (実績値)	達成度	評価	R6年度 (目標値)	R3の達成状況を踏まえ 改善・強化（工夫）している内容
3	くるりんバス及び 乗合タクシー利用 者数	31,320人 /年	38,621人 /年	31,769人 /年	82.3%	○	46,000人 /年	運行見直し、再編等を検討している。 (R4.3月策定の地域公共交通計画に基づき、 地域交通ネットワーク再編検討方針を整理し、 今後、利用状況調査・分析や地域との検討会 などを経て実際の再編実施計画を構築し実施 する。)
8	道路冠水箇所★	32箇所	28箇所	32箇所	★ 14.3%	○	21箇所	R6年度までの目標値については、「鹿屋市 総合雨水排水対策事業計画」に記載されてお り、スケジュールに沿って、排水路整備等 を実施している。
9	市道の改良率	67.5%	68.2%	67.6%	99.1%	○	68.9%	幹線道路の整備について、維持管理の方向 にシフトしており、安全安心な道路環境の整 備に努めている。 ※R4予算で拡充
13	防災出前講座への 参加者数	842人/年	600人/年	510人/年	85.0%	○	600人/年	・R3年度から危険度に応じて町内会をラン ク付けし、危険度の高い町内会を優先して自 主防災組織の育成を図っている。 ・R4年度から地域防災リーダーの育成のた めの研修を実施している。
		新型コロナの影響で申込件数が少なかったため						
21	一人当たり ごみ排出量★	889g/日	836g/日	855g/日	★ 2.2%	○	808g/日	・地域のサロン活動等でごみ減量に関する 3キロ運動の周知を行っている。 ・R4年度に生ごみ減量方針について作成 予定である。 ・リユース品の試験回収を実施し、ごみ減量 に与える効果検証を行っている。

◎…達成されている ○…概ね達成されている △…達成されていない ×…見直しが必要

(達成度：◎…100%以上、○…60%以上、△…20%以上、×…20%未満)

(★削減目標の場合：◎…0%以下、○…+40%以下、△…+80%以下、×…+80%を超える)

■ 地域福祉の充実

○ 農福連携の推進

- ・ 障がい者に就労の機会を提供するとともに、農家の労働力を確保するため、就労支援施設と農業者のマッチング等



○ 医療的ケア児の安全対策の支援

- ・ 停電時等の安全を確保するため、通所施設における自家発電機器の整備を支援
- R3実績：3事業所

■ 健康づくり・生きがいの推進

○ 健康づくりアプリの導入

- ・ アプリを活用したオンライン方式によるスポーツイベントの実施



○ 遠隔手話サービスの充実

- ・ 関係機関と連携してタブレットやスマホを通じた遠隔手話サービスを提供



■ 共生協働・コミュニティ活動の推進

○ 地域課題解決の取組

- ・ 地元小学校と連携した食育体験や交通安全活動、地域の環境美化活動を実施
- ・ こども食堂による青少年育成
- ・ 有償ボランティアによる生活の困りごと解決



○ 新たな地域運営組織の推進

- ・ 菅原地域づくり協議会
- ・ 花岡おこし会



8-2 R3主な数値目標・実績（ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち）

※ 5つの基本施策に紐づく14事業のうち主な事業5つを掲載しています。

No.	指標	R2年度 (実績値)	R3年度 (目標値)	R3年度 (実績値)	達成度	評価	R6年度 (目標値)	R3の達成状況を踏まえ 改善・強化（工夫）している内容
3	成人の週1回以上のスポーツ実施率 (市民意識調査)	45.8%	52.4%	47.1%	89.9%	○	65%	鹿屋体育大学の知見に基づき、市民のライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ・運動の機会や情報を提供している。
5	文化活動に関わる人の数	3,636人/年	5,500人/年	4,444人/年	80.8%	○	6,500人/年	R2年度に実施回数が減った事業について、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で事業を実施した。
9	社会全体において男女が「平等である」と感じる人の割合 (市民意識調査)	14.4%	17%	13.5%	79.4%	○	20%	・女性応援セミナーや市民ワークショップを継続実施している。 ・現状を把握するため「生理に関するアンケート調査」及び「市民意識調査」の実施している。
10	町内会加入率	70.0%	72.7%	68.7%	94.5%	○	73.0%	町内会長、加入者、未加入者等にアンケートを実施するとともに町内会長ヒアリングも併せて実施し、町内会の在り方の検討を行う。
14	個人・団体ボランティア活動者数	2,961人/年	1,850人/年	3,475人/年	187.8%	◎	1,850人/年	人材確保を目的とした新たなボランティアポイントを追加し、高齢者支援の担い手の確保を図っている。

◎…達成されている ○…概ね達成されている △…達成されていない ×…見直しが必要

(達成度：◎…100%以上、○…60%以上、△…20%以上、×…20%未満)

(★削減目標の場合：◎…0%以下、○…+40%以下、△…+80%以下、×…+80%を超える)

9 まち・ひと・しごと創生総合戦略 取組状況 (R3 総括) 17

基本目標	指標数 (事業数)	主な事業	K P I 達成状況 (R3 年度)		
			◎、○ 達成、概ね 達成	△ 未達成	× 見直しが必要
基本目標① やってみたい仕事ができるまち	15 (14)	○スマート農業実証事業 ○地域6次産業化推進事業 など	12	1	2※
基本目標② いつでも訪れやすいまち	14 (11)	○ふるさとPR促進事業 ○定住促進事業 など	8	6	0
基本目標③ 子育てしやすいまち	21 (19)	○妊産婦乳幼児健康診査事業 ○かのやICT教育推進事業 など	17	3	1※
基本目標④ 未来につながる住みよいまち	26 (21)	○総合交通対策事業 ○環境対策推進事業 など	22	4	0
基本目標⑤ ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち	19 (14)	○文化のまち鹿屋魅力アップ事業 ○男女共同参画推進事業 など	12	6	1※
合 計	95 (79)		71 (75%)	20 (21%)	4 (4%)

※ 「× 見直しが必要」な4事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントへの参加者や十分なインターンシップ参加者が少なかったこと、セミナーや実地指導ができなかったため達成できなかったもの(別冊2参照)
「企業誘致・サポート推進事業」(P1)、「地元就職支援事業」(P1)、「教職員研修等推進事業」(P3)、「介護給付適正化事業」(P5)

10 総合戦略を推進するための新たな取組（R4新規・拡充）

基本目標	事業名等	概要
基本目標① やってみたい仕事ができるまち	求人情報発信支援事業（新規）	<ul style="list-style-type: none"> Ⓔ 求人情報掲載に係る経費助成等 <ul style="list-style-type: none"> ・新たに就職支援事業者のサポートを受けながら、就職情報サイトを活用して採用活動に取り組む市内事業者を支援 ・支援内容：対象費用の2/3（上限40万円）
	農業・農村戦略ビジョン等策定事業（新規）	<ul style="list-style-type: none"> Ⓔ 「かのや農業・農村戦略ビジョン」等の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・かのや農業・農村戦略ビジョンの策定 ・鹿屋市森林・林業振興計画の策定 ・鹿屋市水産業振興計画の策定
	新たな食・農ビジネス創出事業（新規）	<ul style="list-style-type: none"> Ⓔ 鹿屋よかもんフェスティバルの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者が開発した6次産品等の認知度向上を目指したPRイベントの開催 Ⓔ 「鹿屋の食」高付加価値化プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・6次産品等のブラッシュアップによる高付加価値化の推進
	工業用地整備基本計画策定事業（新規）	<ul style="list-style-type: none"> Ⓔ 新たな工業団地の整備に向けた基本計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・計画区域：鹿児島県農業開発総合センター大隅支場
	サツマイモ基腐病対策支援事業（新規）	<ul style="list-style-type: none"> Ⓔ サツマイモ基腐病対策支援 <ul style="list-style-type: none"> ・バイオ苗購入に要する経費の一部を支援 ・土層改良や排水対策に要する経費の一部を支援
	漁業付加価値向上対策事業（新規）	<ul style="list-style-type: none"> Ⓔ 水産物加工処理施設整備への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・水産物加工処理作業の効率化や商品の品質向上に向けた水産物加工処理機械の導入支援

10 総合戦略を推進するための新たな取組（R4新規・拡充） 19

基本目標	事業名等	概要
基本目標② いつでも訪れやすいまち	ばらを活かしたまちづくり推進事業（拡充）	<ul style="list-style-type: none"> ■ かのやばら園リニューアルに向けた設計 ・ ウェルカムガーデンや展望デッキ等の整備 ・ つるバラトンネル等の整備 ・ 無料Wi-Fiアクセスポイントの設置（4か所）
	域外からの誘客促進事業（新規）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高速船を活用したツアーへの助成等 ・ 市内での昼食、観光を伴う日帰りツアーを企画する旅行会社 8,000円/人 ・ 市内での宿泊、観光を伴うツアーを企画する旅行会社 15,000円/人
	里山ツーリズム推進事業（新規）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 里山ツーリズムの推進 ・ 里山エリア（高隈地区）をモデルに「何度も通う旅」の創出 ・ モニターを活用し、滞在・体験プログラムや受入体制の実証
	特別国体気運醸成事業（新規）	<ul style="list-style-type: none"> ■ JBCFロードシリーズ2023 第1回鹿児島大会の開催 ・ 全日本実業団自転車競技連盟（JBCF）が主催する自転車ロードレースの開催 ■ 鹿児島・佐賀エールプロジェクトの実施 ・ 佐賀市との交流事業で学校給食にご当地グルメを相互提供
	（仮）鹿屋市人口減少対策ビジョン策定事業（新規）	<ul style="list-style-type: none"> ■ （仮）鹿屋市人口減少対策ビジョンの策定 ・ R4年度に設置した人口減少対策本部を中心に、人口の減少幅を少しでも抑制する施策や人口が減少する地域社会を見据えた施策・事業を構築するための基本方針
	移住・定住対策事業（新規）	<ul style="list-style-type: none"> ■ リモートワークへの支援 ・ リモートワークに必要な家賃や通信環境整備費用を支援 ■ かのやベンチャーチャレンジスクールの開催 ・ 都市住民を対象に、本市で企業を目指したオンラインスクール、現地フィールドワークの開催

10 総合戦略を推進するための新たな取組（R4新規・拡充）

基本目標	事業名等	概要
基本目標③ 子育てしやすいまち	医療的ケア児保育支援事業（新規）	⑧ 医療的ケア児を受け入れる保育施設への支援 ・ 看護師等の配置や施設職員の研修等に係る経費の支援 ※実施予定施設：2施設
	未就学児に係る国民健康保険税の軽減措置（新規）	⑧ 子育て世帯の経済的支援のため、国や市独自の従来の軽減措置に加え、未就学児の均等割保険税を国と地方の負担により5割軽減
	小・中学校ICT教育推進事業（拡充）	⑨ ICT支援員の配置 ・ ICT機器・ソフトウェアの操作説明 ・ 校務支援システムの設定操作支援 等 ⑧ GIGAスクール運営支援センター事業 ・ タブレット持ち帰り時の運用支援 ・ ヘルプデスクの運営及びサポート対応 等
	電子書籍導入事業（新規）	⑧ 電子書籍の導入（1,800冊） ・ 新型コロナの影響により市立図書館の利用者が減少する中、いつでも、どこでも、だれでも気軽に読書を楽しめる環境を整備
	医療的ケア児支援事業（新規）	⑧ 医療的ケア児等への支援 ・ 医療的ケア児及びその家族のタクシー利用に対する支援 ・ 短期入所受入支援、避難所確保に対する支援
	国立台北教育大学連携事業（新規）	⑧ 協定締結に基づいた教育実習生の受入れ ・ 小中高校における英語教育、異文化交流の実施

10 総合戦略を推進するための新たな取組（R4新規・拡充） 21

基本目標	事業名等	概要
基本目標④ 未来につながる住みよいまち	市営住宅改善・改修事業（拡充）	⑧ 平和市営住宅改善事業 ・外壁改修、屋上防水、バリアフリー化等の設計 ⑨ 鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援事業 ・住宅の改修工事に伴い太陽光発電設備の設置や省エネに向けた改修工事などグリーン化対策の促進や支援
	災害につよいまちづくり推進事業（新規）	⑩ 地域防災リーダーの育成 ・自主防災組織の強化のため、地域で活動する地域防災リーダーを育成 ⑪ 防災フェスの開催 広く市民の防災意識の向上を図るための防災フェスの開催 ⑫ 空き家相談会の開催 ・空き家の利活用や解消のための空き家相談会を開催
	道路整備事業（拡充）	⑬ 市道沿いの除草伐採等による環境整備 ・市内路線の除草伐採、高木剪定等による環境整備の促進 ⑭ 交通安全施設の整備 市内路線の区画線（中央線・外側線）やガードレール等の整備の促進
	脱炭素社会推進事業（新規）	⑮ 鹿屋市地球温暖化対策実行計画の見直し ・「ゼロカーボンシティかのや」宣言を踏まえ、脱炭素社会の実現に向け計画を見直す。 ⑯ 環境フォーラムや脱炭素推進普及啓発活動の実施 ・環境フォーラムの開催や各イベントでの脱炭素普及啓発活動の実施

10 総合戦略を推進するための新たな取組（R4新規・拡充）

基本目標	事業名等	概要
基本目標⑤ ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち	大隅広域夜間急病センター事業（拡充）	⑧ 夜間の外科診療の開始 ・診療内容：小児科・内科・外科の応急的な処置 ・診療日時：毎日（年中無休）、午後7時から午前7時まで
	妊産婦乳幼児健康診査事業（拡充）	⑧ 視覚検査における屈折検査の導入 ・3歳児健診における視覚検査について医療機器の導入による屈折検査を実施
	住民主体の助け合い活動支援事業（新規）	⑨ 助け合い活動を行う団体への支援 ・生活支援提供や高齢者等の居場所づくりなど、住民主体の助け合い活動を行う団体に対する活動費等の支援
	医療用ウィッグ購入助成事業（新規）	⑨ 医療用ウィッグ購入費の助成 ・がん治療をされている方が使用する医療用ウィッグの購入費用の一部を助成 ・購入額の1/2（上限20,000円）
	男女共同参画推進事業（新規）	⑨ 生理用品の支援体制構築に向けた取組 ・公共施設や学校施設等に生理用品を配置
市政運営	スマート自治体推進事業（拡充）	⑧ 自治体クラウドの推進 ・県内4市で共同利用するシステム構築及びデータ移行の実施 ・コンビニ交付システム機器のクラウド化 ⑧ スマート職員の育成 ・ICTを活用し業務を効率化するスマート職員育成研修の実施 ・ICT関連資格取得支援（ITパスポート、基本情報技術者）